資料①－2

前回審議会以降、市役所内協議により変更した指標一覧　　青：前回審議会以降　変更箇所(市役所意向)

		野洲市の協議結果	野洲市の対応	指標番号
①	すべての基本目標の環境学習、体験学習、イベント、企業向け研修、出前講座等参加者数（のべ）※環境フェスタ来場者含まず	基本目標５は、基本目標1～4までの活動を連携して進めるための、「協働」の基本目標である。ここではそれぞれが別々に行うのではなく、「協働」をどのようにするかを整理すべきではないかと考えたため。	基本目標1～4のすべての環境学習、体験イベント、研修、出前講座の参加人数の合計を基本目標５にまとめる。（資料①-3の☆印の指標）	5－1
②	熱中症に関する啓発実施回数	熱中症に関しての啓発は、適切なタイミングで行うことが重要であると考えたため。	代替として、下記のとおり、クーリングシェルターの指定件数を指標とする。	1－5
③	クーリングシェルターの指定件数	国の気候変動適応計画にもあるように、地球温暖化に対する熱中症対策は重要であり、その指標として「クーリングシェルターの指定件数」が適していると考えたため。	小学校区（６学区）毎にクーリングシェルター３か所設置を目標に、民間施設におけるの指定を促し、指定件数の増加を図る。	
④	市内で回収した廃食油の回収量	第２次計画では指標をリサイクル率としていたが、100%リサイクルに回しているため、より明確な数値の方が指標として適すると考えたため。	指標としてより明確な数値を指標とするため、次期計画では回収量を指標とする。	2－3
⑤	スマート農業の実施有無	実施回数を正確に把握することが困難であるため、指標として実施の有無を指標にするよりも数値化できる項目にすることを考えたため。	項目削除する。	削除
⑥	環境に配慮した農業に関する啓発有無	環境に配慮した農業に関する啓発は、適切なタイミングで行うことが重要であると考え、指標として適していないと判断したため。	項目削除する。	削除
⑦	ごみの不法投棄件数	令和5年度で不法投棄監視員(自治会)による取り組みを終え、現在、クリーンパトロール(シルバー人材センター)での取り組みを実施しているため。	項目削除し、下記に見直す。	4－4
⑧	クリーンパトロールによる不法投棄ごみの回収量	同上	不法投棄対策の実施状況を把握するために上記に変わる代替案とする。	
⑨	市民一人当たりの都市公園面積	５月12日の審議会で、事務局より、削除予定としたが、野洲市総合計画(後期計画)においても、継続して指標として位置付けされているため、指標削除は適さないと考えたため。	継続して指標とする。	4－5
⑩	苗木の配布実施有無	5月12日の審議会で案として提示したが、実施しているかの有無を指標とすることは、指標として適していないと判断したため。	項目削除する。	削除
⑪	情報発信数 （広報・SNS・HP等）	広報やSNS等の積極活用を明確な数値指標にするため。	指標の目標数値を48回（月４回×12カ月を目安）に変更する。	5－2